【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成29年8月24日(2017.8.24)

【公開番号】特開2016-113903(P2016-113903A)
【公開日】平成28年6月23日(2016.6.23)
【年通号数】公開・登録公報2016-038
【出願番号】特願2014-250759(P2014-250759)
【国際特許分類】
Ｆ０４Ｄ　29/28　(2006.01)
Ｆ０２Ｂ　33/40　(2006.01)
Ｆ０２Ｂ　39/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０４Ｄ　29/28　C
Ｆ０２Ｂ　33/40
Ｆ０２Ｂ　39/00　Q
Ｆ０４Ｄ　29/28　N

【手続補正書】
【提出日】平成29年7月11日(2017.7.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４６】
すなわち、エンジンの最大回転数をＮｍ（ｒｅｖ／ｍｉｎ）、増速比をα、音速をＶｓ（ｍｍ／ｓ）とすると、下記の（１）式が成立する。
［（Ｎｍ×α）／６０］×π×Ｉｉ＞Ｖｓ　・・・（１）
本実施形態では音速の１．３倍に設定されるので、入口径Ｉｉ（ｍｍ）は、つぎの範囲に設定される。
１．３×Ｖｓ＞［（Ｎｍ×α）／６０］×π×Ｉｉ＞Ｖｓ
［（１．３Ｖｓ×６０）／（Ｎｍ×π）］＞Ｉｉ＞［（Ｖｓ×６０）／（Ｎｍ×π）］
つまり、本実施形態のように増速後の過給機の最大回転数が毎分１４万回転の場合、入口径Ｉｉは４５ｍｍを超えて５９ｍｍ未満が好ましい範囲となる。本実施形態では、入口径Ｉｉ（ｍｍ）は、５２ｍｍに設定される。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８０】
４２　過給機
４４　過給機回転軸
６０　インペラ
７５　カラー（フランジ部）
７７　シール部材
８５　固定具
１００　インペラ本体
１０２　前端部

１０２ａ　前端部の端面
１０４　後端部
１０４ａ　後端部の端面
１１０　貫通孔
Ｄｉ　前端部の端面の外径
Ｄｏ　後端部の端面の外径
Ｉｉ　インペラの入口径（インペラ本体の前端部の外径）
Ｉｏ　インペラの出口径（インペラ本体の後端部の外径）
ｒ　貫通孔の半径
ｔ　後端部の突出寸法
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図３】

